政策

1

健康で安心感のあるくらし

- (1) 保健•医療
- (2) 福祉
- (3) 多文化•共生

施策の概要

保健・医療分野では、すべての市民が生涯にわたり、心身ともに健やかに暮らすことができるよう、健診(特定健診、基本健診)、がん検診の受診環境を整えるとともに、効果的な受診勧奨や要精密検査の未受診者対策など、疾病の予防や早期発見・早期治療を推進しています。また、運動の推進や地域と連携した健康づくり、食育の推進など、ライフステージに応じた主体的な健康づくりに取り組んでいます。あわせて、基幹病院である市立三次中央病院や三次地区医師会、三次市歯科医師会、三次薬剤師会などと連携し、医療の質の維持・向上を図るとともに、医療従事者等の確保・育成にも取り組みながら、どこに住んでいても安心して質の高い医療サービスを受けることができる医療体制づくりを進めています。

福祉分野では、みんなで認め合い支え合うことで、高齢者や障害者をはじめ、すべての市民が暮らしやすい環境づくりに取り組んでいます。地域包括ケアの取組や、元気サロンをはじめとする介護予防(運動・食・集い等)の取組など、地域包括支援センターを中心に、医療・介護・福祉、民生委員・児童委員などの関係者が連携し、高齢者がいつまでも元気で活躍できるしかけづくりを推進しています。また、障害者支援センターを中心に地域全体で障害を理解し、支え合うしくみづくりを推進するなど、障害のある人やその家族が地域でいきいきと自分らしく生きることができる環境づくりに取り組んでいます。あわせて、経済的困窮やひきこもりなどへの支援に向けた相談体制の構築やつながりの場づくりなどに取り組んでいます。

多文化・共生分野では、人権を尊重し、多様性を認め合う意識が醸成され、思いやりとゆずり合いに満ちた地域社会の中で誰もが自分らしく活躍できるよう、人権意識や男女共同参画意識の啓発、在住外国人への生活相談や日本語教室の実施等、一人ひとりを尊重し合う共生社会の推進に取り組んでいます。また、恒久平和の願いを次世代に継承する取組や、国際交流活動を支援し、グローバル人材の育成や異文化理解の促進に取り組むなど、平和の継承と国際交流の推進に取り組んでいます。

第3次三次市総合計画に掲げる「目標指標」・「重要業績評価指標(KPI)」の実績

(1) 保健 • 医療

	施策	指標	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R15)
		「心も体も健康で暮らすことができる」と思う市民の割合	46.5% (R4年度)	_	50%
	目標指標	「不健康な期間(平均寿命と 健康寿命の差)」の平均年数	男性 3.0 年 女性 6.2 年 (R4 年度)	男性 2.4 年 女性 4.5 年	中間値より 減少
施	疾病の予防・	国保特定健診の受診率	38.8% (R4年度)	42.3% 速報値	48%
策 1	早期発見・早期治療の推進	国保特定保健指導の実施率	14.3% (R4年度)	11.3% 速報値	30%
1	別心療♡が生産	国保がん検診受診率(大腸がん)	25.4% (R4年度)	21.6% 速報値	50%
		国保データベースシステムで 算出した運動を習慣化してい る人の割合	41.1% (R4年度)	36.9%	41.1% (現状維持)
施	心と体の健康	節目年齢歯科健診受診率	14.9% (R4年度)	16.3%	19.5%
策 2	づくり	う歯のない3歳児の割合	89.3% (R4年度)	90.5%	90%以上
		自殺する人の割合 ※自殺による死亡率人口10 万人対(3年平均値)	27人/10万人 (R1年~R3年 平均)	30.3 人/10 万人 (R3年~R5年 平均)	18.9 人/10 万人 (R11 年~R13 年 平均)
施策	地域で支える 医療体制づく	無医地区数	8 地区 (R4 年度)	8 地区	8 地区 (現状維持)
3	と 別 と	市立三次中央病院における医 師数	83 人 (R5 年度)	86人	90人

(2)福祉

	施策	指標	基準値	実績値 (R6)	目標値 (R15)	
		「高齢者が暮らしやすい」と 思う市民の割合	26.2% (R4年度)	_	33%	
	目標指標	「障害者や生活困窮者が暮ら しやすい」と思う市民の割合	15.1% (R4年度)	_	33%	
		「小さい子やお年寄りが困っ ている時は迷わず手助けをし ている」児童生徒の割合	74.1% (R5年度)	1	80%	
		元気高齢者の割合	77%			
施策	安心して暮ら し続けられる	元気サロンの設置数	56 か所 (R4年度)	73 か所	100 か所	
1	高齢者福祉の 推進	在宅介護実態調査対象者のうち、介護のために仕事を辞めた家族・親族はいないと回答した割合	83.8% (R4年度)	_	84%	
施策	ライフステー ジに応じた障	障害に関する総合的な支援を 行う窓口(障害者支援センタ ー)を知っている市民の割合	_	_	25%	
2	害福祉の推進	「障害を理由とする差別や偏 見がある」と思う市民の割合	86.6% (R2年度)		60%	
施 策 3	心のかようま ちづくり	生活サポートセンター相談 後,課題解決に至った割合	87.3% (R4年度)	63.1%	93%	

(3) 多文化・共生

	施策 指標		基準値	実績値 (R6)	目標値 (R15)
目標指標		「一人ひとりの人権が尊重されている」と思う市民の割合			50%
		「一人ひとりの人権が尊重されること」が重要だと思う市民の割合		1	70%
<u> </u>	人権講演会等への参加者数	559 人 (R4年度)	550人	1,000人	
策 1		外国人生活相談後,解決に至った割合	_	100%	90%
'	生社会の推進 	市役所が設置する審議会の女 性委員の割合	27.6% (R4年度)	_	50%
		国際交流人数	215 人 (R4 年度)	305人	280人
施 策 2	平和の継承と 国際交流の推 進	国際交流活動への参加により,異文化理解が深まった人の割合	_	_	90%
		平和祈念イベントの参加者数	200 人 (R4年度)	200人	300人

(1)保健·医療 (単位:千円)

担当部課名 福祉保健部健康推進課 事業名 健康診断事業(がん検診・人間ドック・歯科健診) 事業区分 継続事業 政策1 健康で安心感のあるくらし 特定財源内訳 一般財源 負担金等 国庫支出金 県支出金 市債 決算額 52,008 その他 1,348 0 0 4,742 45,918 健康増進法及び高齢者医療確保法に基づき,一定年齢の市民を対象とした基本健診・がん検診・肝炎ウイルス検診・歯周疾 患検診を実施し、市民が自らの健康管理と適切な医療の確保に資することを目的とする。 事業の概要 令和6年度から,心不全対策の一環として,基本健診に採血で心臓の状態を知ることができるNT-proBNP検査(慢性心不全検査)を 追加しました。 また,節目年齢歯科健診は,健康増進法改正により新たに20歳を対象者に追加しました。 ●健診(集団・個別健診・ドック)事業 内訳 胃がん 645人 結核・肺がん 1,828人 大腸がん 1,799人 乳がん 子宮頸がん 632人 事業の取組 809人 肝炎 142人 心不全検査 基本健診等 831人 735人 後期高齢者ドック 568人 ●節目年齢歯科健診事業 791人(受診率16.3%) 健康診断を通じて,病気や健康問題を早期に発見し,適切な治療や対策につなげました。また,生活習慣病のリスクやその他の疾患の 状態を知ることで,市民一人ひとりが健康への意識を高め,医療費の適正化につなげました。 節目年齢歯科健診は,かかりつけ歯科医による定期的な歯科健診とセルフケアの重要性の意識づけになり,歯と口腔の健康づくりに 事業の成果 新たに取り組んだ心不全検査は,予約時に丁寧に説明をすることで,831人の方の健診受診につながりました。健診結果を基に,三次地区医師会と連携して,心不全の予防,抑制に取り組んでいきます。

(畄位・壬四)

						(単位:千円)			
		担当部課名	福祉保健部健康推進課						
事	業名			運動の推進事業					
事業区分	継続事業	業(拡充)	(拡充) 政策1 健康で安心感のあるくらし						
			特定財	源内訳		和中北西			
決算額	6,000	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源			
		0	79	0	0	5,921			
事業の概要	市民の運動習慣の定着のためのウォーキング・運動事業や各種健康講座の実施により,生活習慣病予防,介護予防を含めた健康づくりを行い,健康寿命の延伸を図る。								
事業の取組	運動インストラクターによる出前講座の実施や参加者の体力レベルや目的に合わせた運動の啓発を行い、運動習慣の環境整備として老朽化したトレーニングマシンの更新を行いました。また、住民自治組織や各種団体と連携したウォーキング事業や運動と食を通じた健康づくりの啓発として、健塩ウォーキングを行いました。低栄養予防や口腔機能低下、身体機能低下などを含むフレイル予防及び認知症予防を進めていくために、フレイル予防啓発のリーフレットやDVDを活用した啓発を行いました。 〇各種ウォーキング事業 11回 229人 〇出前講座 28回 534人 〇健康づくりサポーター養成講座 3会場 9人 〇健康づくりサポーター養成講座 3会場 9人 〇健康づくりサポーター・ウォーキングマイスター研修 14回 239人								
事業の成果	中心となった住民主	とした健康づくりをす :体のウォーキングに・ :展開につなげること	支える人材として健康 つながりました。「健康 ができました。	づくりサポーターを を 受運動指導士」の有資	養成してきたことで, 格者による, 専門的知	住民自治組織等が 11見を活かしたあら			

		担当部課名	福祉保健部健康推進課,甲奴支所					
事	業名	三次市甲奴健康づくりセンター運営事業						
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし			
			特定財	源内訳		一般財源		
決算額	53,696	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一放火水		
		0	0	0	10,263	•		
事業の概要	る。最終目的は,自然に グループによる運動な	バーデプールやトレーニ こ健康になれるまちとし こどいろいろな世代が自	ノ, 健康寿命の延伸のた	:め,水中運動教室及び	自主利用・多目的室で(地域づくりを推進す の運動教室及び自主		
事業の取組	動教室を実施し、世代た。 具体的には、バーデーは、ピラティス、体ほぐりました。温泉サロンや会教育での活用も定開また、体の不明に高いなが、中にの地域の機業生産者の健康になれる環境づく	でりとして、トレーニングや体力にあわせて、動きプールでは、水中体操、プールでは、水中体操、プールで力がかった。か元気サロン、メンズクが明的に行われました。り・腰痛・膝関節痛など脳血管疾患後遺症の方り取患コーナーや地域のに切に協力いただきましるな面で、地域の拠点と	をやすい体づくり及び追水中ウォーキング教室や教室、頑張らない体操のファなど健康づくりのほうの軽減のため、医療機のリハビリとしても活用の性会による軽食提供た。地域の交通アクセス	国動機能向上の支援を行 や自主的な利用,多目的 の自主グループでの利 自主グループやアロハな 機関からの推奨で利用を 関されています。 はは健塩応援店として, になばく,市民バスなど	対室で 用があ などの社 を開始さ 自然に を利用			
事業の成果	◆健康づくり◆ 毎年行うアンケートでかしやすくなった,体で かしやすくなった,体で ◆地域の拠点◆ 地域の社会福祉法人	り,年間延73,756人(では、体の効果不調(肩 力がついたといった回? 、や女性会,農業生産者 口増加につながりまし <i>†</i>	こり・腰痛・膝関節痛なら 答が出ています。 などとの連携により、り	ど)の軽減, 医療機関か	らの推奨でリハビリと			

		担当部課名	福祉保健部健康推進課						
事	業名	オーラルフレイル予防事業							
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし				
			特定財	源内訳		一般財源			
決算額	2,658	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一放射流			
		0	o .	0	2,658	0			
事業の概要				明の段階で口腔機能の 元気で過ごすことがて					
事業の取組	入することが、フレイ川事業を実施しました。対象圏域では、元気が教育や口腔ケア・体気を含えらう支援しました科受診の勧奨を実施し対象圏域:中部・南部〇ポピュレーションア・開催回数クアプロー・実人数6人 ※フレイル(加齢に伴う	プトリー であるため アウス である ため アウンなどの場に歯科 の実技を伝え,住民が きまた,必要に応じて 個 いました。 アウーチ(健康リスクの) で 159人 チ(健康リスクの高い人 が 心身機能が低下した な	か, 三次市歯科医師会と		ル予防 る健康 とがで ぶじて歯				
事業の成果	加しました。また,約7 秒間の咽頭挙上の回数 教室前後でオーラル	割の人が「食事がおいし 女)が3回以上できる人	しくなった」と回答して! の割合が初回の37.59 みをしている人が,大き	犬況は,教室参加者前の います。またハイリスクス %から最終回は78.6% く増加したことから,歯	アプローチの評価の一つ ると大きく増加しました	つである, RSST(30 。			

		担当部課名	担当部課名 福祉保健部健康推進課						
事	業名	自殺対策事業							
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安/	心感のあるくらし				
			+定財源内訳						
決算額	274	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源			
		0		0	0	130			
事業の概要	自殺対策計画に基 図る。	づく相談支援体制の	充実やこころの健康:	づくりを推進する取組	により,心身ともに健	建康な生活の確立を			
事業の取組	の企業4社へ企業研制を対して、大学の企業4社へ企業研制をできた。 の企業4社へ企業研制をできた。 ののでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	修を行いました。 るこころの健康相談に 療機関につなげる等 援センター等関係機 家族等への家庭訪問 した。また,身近な身できる人を養成する「こ ロン等を対象に実施し 発に取り組みました。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、報等で市民への周知。 。 講座 受講者計165人	の精神科専門医の相談 1ました。また,障害者に害者や精神保健に課かな課題に対する支援とに「気づき,聴き,つトキーパー)養成講師に努めて,早期の相談	談を受 対支援セ 題を継続 をがげ 変」につ 炎支援				
事業の成果	での自殺対策,メンク 専門医によるここ	タルヘルスについての	ーパー)養成講座を継 り啓発周知を行う機会 稼機関にかかるまでの できました。	ミにつながりました。					

						(単位:千円)		
		担当部課名		市民病院部	病院企画課			
事	事業名	病院改築事業						
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし			
			特定財	源内訳		60.04VE		
決算額	41,049	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源		
		0	0	31,000	0	10,049		
事業の概要	市立三次中央病院は、改築から30年が経過し、施設整備の老朽化と狭隘化が進み、業務に支障をきたしている。医療の質・患者サービスの向上及び安全・安心な医療を継続的に提供するため、新病院の改築を計画的に取り組む。							
事業の取組	量や地盤調査等を実 に取り組んできまし ることとしました。 敷地測量業務 地盤調査及び地 医療機器整備等 合計	に応しました。また、病た。しかしながら、令和 ではながら、令和 ではなながら、令和 ではななななななない。 では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	新病院基本構想」及び院改築基本設計業務和6年度病院事業の総 (単位 金額 10,43 20,61 10,000 41,04	に令和6年4月に着き 経営状況の悪化のため : 円) 3,500 5,100 0,000 3,600	Fし、令和7年7月末()、基本設計の完了を	に完了するよう事業 もって一時中断す		
事業の成果	病院改築に向けて の作成などの「医療	,「敷地測量業務」及で 機器整備等支援業務。	が「地盤調査及び地震」を実施したことによ	波作成業務」の事前記 り、今後の改築に必要	周査, 医療機器整備計 な資料などを整える	画・医療機器リスト ことができました。		

		担当部課名 市民病院部病院企画課							
事	業名			医療機器等整備事業					
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし				
			特定財	源内訳		加州北西			
決算額	496,956	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源			
		0	0	236,700	241,100	19,156			
事業の概要	質の高い安全・安心な医療サービスを提供できるよう,医療機器の新規整備及び更新を行い、病院機能の充実を図る。								
	医療機器等の導入を	産進めました。		(単	共していくために、計i <u>位:円・税込)</u> 金 額	画的かつ効率的に			
	<u>名称(1,000千</u> サージカルロ	<u>・円以上)</u> ボットシステム	金額 名称(1,000千 191,400,000 大腸ビデオス		<u>金額</u> 4,345,000				
	循環器用X線アンギオグラフィシステム		108,900,000 輸液ポンプ	- ,	3, 646, 720				
	スマートベッ		39,369,000 十二指腸ビデ	オスコープ	3, 410, 000				
	セントラルモ	= 9	13,706,000 上部消化管ビ	デオスコープ (GIF-1200N)	3, 322, 000				
	三次元術前計	三次元術前計画支援ソフトウェア			3, 190, 000				
	麻酔管理シス・	7 L	10,582,000 レーザ血流計		3, 080, 000				
	電動ベッド		9,570,000 泌尿器科診察台		2, 914, 120				
	UBE内視鏡手術	ラセット	7, 183, 000 産婦人科検診	<u> </u>	2, 879, 800				
事業の取組	人工呼吸器		6,886,000 除細動器		2, 530, 000				
	調剤支援シス	·	6,783,700 分娩監視装置		2, 365, 000				
	トンプソン開		6,677,000 血液検査用顕		2, 325, 400				
	リース資産購	入費	6,472,794 電子カルテ端		2, 238, 500				
	血液浄化装置	T Mr am s = - 1	5,544,000 コードレス型		1, 645, 600				
		歴管理システム - ポック5 V710001	5,115,000 自動浸透圧測		1, 617, 000				
		コープ (CF-XZ12001) デオスコープ (GIF-	5,005,000 電気メス排煙	表直	1, 243, 000				
	工部用1C官C XZ1200)	TAXI-) (GIF-	4,840,000 集塵機付き散	薬台	1, 185, 800				
			1,000千円以上	:合計 (32件)	481, 785, 434				
			1,000千円未満	合計 (30件)	15, 170, 562				
			合計		496, 955, 996				
			PH H1		,,				
事業の成果	サージカルロボット タ等各種医療機器の	〜システム(hinotori))整備を行ったことで)、循環器用X線アンコ ,より質の高い医療を	ドオグラフィシステム、 提供するための環境	スマートベッドシステ を整えることができ	ム, セントラルモニ ました。			

担当部課				福祉保健部健康推進課				
事	業名	三次市休日夜間急患センター運営事業						
事業区分	継続	事業				政策1 健康で安	心感のあるくらし	
				#	詩定財	源内訳		6八日十八万
決算額	27,965	国庫支出金		県支出金		市債	負担金等 その他	一般財源
			0		0	0	,	0
事業の概要	休日・夜間に安心して受診できる救急医療体制の維持を目的に,休日及び夜間における急病かつ軽症の患者に対し,初期 救急診療を行う。三次市休日夜間急患センターを設置し,運営を三次地区医師会に委託している。							
事業の取組	の医療体制を確保す	ることができまし	R4 1,761	R5 1,813	単位: Z R6 1,97	人) 5 72	次救急医療機関として	
事業の成果	近年は年間を通じ を行い,安全安心な						こおける急病患者に対	対して応急的な処置

		担当部課	担当部課名 市民病院部病院企画課						
事	業名				24	詩間365日小児救急	医療		
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安心感のあるくらし					
					特定財	源内訳		60.0475	
決算額	63,292	国庫支出	金	県支出金		市債	負担金等 その他	一般財源	
			0	3	39,446	0	0	23,846	
事業の概要	小児救急医療拠点病院として,切れ目なく小児の救急医療ニーズに迅速かつ適切に応えるため,小児救急を24時間365日実施する。								
	市立三次中央病院小児科医師及び広島 れ目なく実施しました。				らの診療! 単位 : 人)	応援を受けて体制を	整備し,24時間365	日の小児医療を切	
	項目		R4 761	R5	R6 946				
	3 7837(1818:1237)	小児救急患者数(平日·夜間) 小児救急患者数(休日·夜間)		992 2,562	2,272	_			
事業の取組	合計		2,424	3,554	3,218				
ず木ツ州川		11/4							
事業の成果							ています。小児救急B 安心して子育てできる		

(2)福祉 (単位:千円)

担当部課名 福祉保健部高齢者福祉課 事業名 地域包括支援センター事業 継続事業 政策1 健康で安心感のあるくらし 事業区分 特定財源内訳 一般財源 負担金等 国庫支出金 県支出金 市債 決算額 70,000 その他 26,230 10,843 0 8,413 24,514 介護保険者である市が設置している地域包括支援センターの運営を委託して実施する事業。地域包括支援センターを運営 することにより、相談の受付や制度横断的支援、虐待への対応、支援困難事例の対応等を通じて、高齢者の健康の保持及び 事業の概要 生活の安定等を図ることを目的とする。 地域包括支援センターでは、総合相談支援や権利擁護・虐待防止、包括的・継続的ケアマネジメント、介護予防支援などの業務を行い、市民一人ひとりに合ったきめ細かな保健・福祉サービスを提供できるよう、高齢者の在宅生活を支援しました。 また、地域において地域の全体・個別の課題解決を図るための場として、地域課題について話し合う地域ケア会議と、地域に暮らす個人の課題を考える個別ケア会議の設置及び開催支援を行い、関係部署・関係機関との連携強化を図りながら、地域包括ケアシステムを充実するための市内の体料がとした。 制づくりを進めました。 ・高齢者の総合相談支援 相談 2,207件
・権利擁護・虐待防止に関する相談支援 相談 127件 事業の取組 ・成年後見制度の利用支援 市長申立て 2件 ・地域ケア個別会議 20件 ・地域ケア会議設置地域 13か所 ・要支援者の自立支援等に資する介護予防支援 プラン作成 8,958件 ・市内の介護支援専門員との連携・支援 相談 95件, 研修 6回 102人参加 委託により,三次市地域包括支援センターが,介護保険法に基づく,①総合相談支援業務②権利擁護業務(高齢者虐待・成年後見人制度)③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(地域ケア会議の設置促進・運営支援,地域包括ケアの啓発)④介護予防ケアマネジメント(要支援者への介護予防プラン作成,市内の介護支援専門員との連携・支援)などの高齢者に関するあらゆる取組について求められる 事業の成果 役割を果たしました。

			i e			(単位・十円)		
		担当部課名	福祉保健部高齢者福祉課					
事	業名	認知症地域支援・ケア向上事業						
事業区分	継続	事業	政策1 健康で安心感のあるくらし					
			特定財	源内訳		60.0475		
決算額	6,605	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源		
		2,543	1,271	0	1,519	1,272		
事業の概要	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、認知症の容態の変化に応じ、すべての期間を通じて、必要な医療、介護 及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築する とともに、地域の実情に応じて、認知症ケアの向上を図るための取組を推進することを目的とする。							
事業の取組	スが提供されるよう 護サービス事業者及 連携を図りました。 ける認知症の人及び 軽に交流できる場と 職が集い、認知症の ・認知症サポーター ・認知症カフェ数(令	,地域包括支援センタ び認知症サポーター また,認知症地域支援 その家族を支援する して「認知症カフェ」 人を支えるつながり 養成人数(令和6年度 和7年3月31日現在)19か所	センターを含む医療材 症の人を支援する関係の実情に応じて, 地域した。その他, 地域住 した。そので, 地域住 とその家族, 地域住ぼった。	機関、介 係者の 刻にお 民が気 民、専門			
事業の成果	ともに早期発見,早	朝治療,早期支援にて	やその家族を対象にホ ひなげました。さらにキ :の連携により適切な	地域において認知症は	こ関する相談窓口の語	護負担を軽減すると 8発を行うととも		

						(単位:十円)
		担当部課名		福祉保健部高	哥齢者福祉課	
事	業名		Ē	高齢者等見守り隊事業	¥ 	
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし	
			特定財	源内訳		60.0-175
決算額	9,828	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源
		0	0	0	9,827	1
事業の概要	安否の確認を行い, 対象高齢者等が日	生活,身上等に関する 常生活において見守	な高齢者などの居宅 6相談に応じる。 りが必要な状況にな 6していくことができ	っても,高齢者等見守	り隊が安否の確認や	
事業の取組		に見守りを実施しま 216人	、に対し,後期高齢者 した。	居住実態調査を年に	1回実施し,主にその	中から対象高齢者
事業の成果	地域包括支援セン 増えていく中でも, E た。	ターや市も連携しなた 3常生活において見 な	がら,随時相談を受け けりが必要な高齢者等	たり対応を行うなど, 手が, 住み慣れた地域	単身高齢者や高齢者 で住み続けられるよ	ものみ世帯の割合が う支援を行いまし

						(単位:千円)	
		担当部課名		福祉保健部高	高齢者福祉課		
事	業名			元気サロン事業			
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし		
			特定財	源内訳		60.0475	
決算額	3,531	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源	
		1,471		0	1,177	442	
事業の概要	元気サロン事業を実施することにより、高齢者の「閉じこもり予防」、「見守り」、「介護度の悪化防止」を図り、地域における 自立した日常生活を支援することを目的とする。						
事業の取組	よう, 社会福祉協議:	会や地域包括支援セ: いの場である「元気サ 累計) 73か所	,身近な地域で介護予シターの関係機関及で ・ロン」の立ち上げを強	が市内のリハビリ専門	職と連		
事業の成果	元気サロンに,多く	の高齢者が参加し、高	高齢者の「閉じこもり [:]	予防」,「見守り」,「介	護度の悪化防止」にて	つなげました。	

		担当部課名		福祉保健部高	高齢者福祉課		
事	業名		介護保険事業				
事業区分	継続	事業	事業 政策1 健康で安心感のあるくらし				
			特定財	源内訳		一般財源	
決算額	6,354,329	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	小人火火	
		1,588,462		0	2,952,312		
事業の概要	要支援・要介護認 負担する。 被保険者 た生活を営めるよう	針の要介護状態に応し	が利用した介護保険† ごて必要な保険給付を	ナービスに対し,自己: そ行うことで,介護を』	負担額を除いたもの 必要とする被保険者が	を保険給付費として が可能な限り自立し	
事業の取組	め合い支えあうまち 進めてきました。 ●第1号被保険者 1 ●第2号被保険者を ●第1号被保険者に	の実現をめざして, <i>f</i> 7,588人(前年度未 含めた要介護(要支 <u></u>	爰)認定者数3,964 <i>人</i> 爱)認定率 22.2%(f	りな運営とサービス <i>の</i> 、(前年度末4,089 <i>)</i>	質の向上や適切な介	して暮らし続け,認 護給付への取組を	
事業の成果	護を必要とする状態	になっても介護サー 「高額になったときの	E利用した場合に所得 ビスを利用することに 給付や施設利用時の	こより,住み慣れた地	域での生活が継続で	きるよう支援しまし	

		担当部課名		福祉保健部高	話齢者福祉課	
事	業名		介護予	防・生活支援サービス	ス事業	
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安心	心感のあるくらし	
			特定財	源内訳		一般財源
決算額	133,251	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一
		45,930	16,656	0	54,008	16,657
事業の概要	要支援認定者を対 サービスを提供し, E	象に,従来予防給付と 自己負担額を除いたも	として提供されていた らのを市が負担し,被 [、]	:介護予防訪問介護お 保険者の支援を行う。	よび介護予防通所介 ,	護と同一内容の
事業の取組	体による訪問型サー	·ビスを実施しました。		問型サービスと通所 <u>₹</u> ! 3,518人 人数59人	型サービスを実施する	るとともに,住民主
事業の成果	送れるように支援す	た被保険者に対し,介 ることで,要介護状態 維持・悪化の遅延が[まとなることをできる	ントによるサービスの 限り防ぎ,要介護状態	利用により, できる <u>队</u> になっても状態がそ	艮り自立した生活を ・れ以上に悪化しな

		担当部課名		福祉保健部	社会福祉課	(半位・十口)	
事	業名		<u> </u>	害者支援センター事	業		
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし		
			特定財	源内訳		一般財源	
決算額	35,000	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一边又只小小	
		4,679	_,	0	0	27,991	
事業の概要	障害者及び障害児 どの総合相談支援を る早期支援などを実	:実施する。また,基幹	常生活及び社会生活 全相談支援センターと	を営むことができる。 して, 関係機関との週	よう,日常生活や福祉 連携や社会資源を活用	サービスの利用な 引, 虐待などに対す	
事業の取組	令和5年度からは、障害者支援センター事業は三次市社会福祉協議会へ委託しており、包括、介護と合わせ一体的な相談体制で実施しました。また、日常生活や福祉サービスの利用などの総合相談支援、基幹相談支援センターとしての位置づけを明確化しており、関係機関との連携や社会資源を活用した障害施策の推進、虐待などに対する早期支援などを実施しました。 (1) 基幹相談支援(サービス等利用計画)に関する相談・指導に関すること・計画相談支援(サービス等利用計画)に関する相談・指導に関すること契約件数・53件・障害者虐待防止、権利擁護に関すること権利擁護相談・72件、虐待対応・10件・障害者支援協議会及び三次市障害者支援ネットワーク連絡会議に関すること						
事業の成果	これまで社会福祉 施する事ができてい		障害に関する事業にて	ついても,障害者支援	センターの業務と整	合性を図りながら実	

						(単位・十円)
		担当部課名		福祉保健部	社会福祉課	
事	業名	障害者福祉タクシー等利用助成事業				
事業区分	継続事業(ア	内容見直し)		政策1 健康で安	心感のあるくらし	
			特定財	源内訳		60.0475
決算額	15,408	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源
		0	0	0	15,204	204
事業の概要	障害者等の社会参	加の促進を図ること	を目的として, タクシ -	一料金又は自動車燃料	料費の一部を助成する	5.
事業の取組	図りました。 タクシー助成券:年間5 自動車燃料助成券:年 なお,従来,4月から 非該当が異なる事例が 助成券を支給したため 【R6年度実績】 対象者:2,017名(施 交付人数:1,042人 交付枚数:39,347材 使用枚数:30,409材	50 枚(じん臓機能障害間25 枚(じん臓機能障害の を) でした 大きな できます できます できます できます できます できます できます できます	者等 除外含む) 375人,燃料助成券 6 \$ 20,175枚,燃料助成 る)	る方は100 枚) 「いる方は50枚) 」たが,申請時期によっ 」 「重す暫定的な対応として 67人)(申請率:51.79	っては,同一年度内の讃 て,令和6年4月から令詞	段税要件により該当,
事業の成果	年度内で該当, 非該	当に差異があるなど	度は7月1日から発行 申請時の混乱を防ぐ。 3を助成することにより	ことが可能となりまし	た。	·

		担当部課名		福祉保健部	社会福祉課	
事	業名		生	活困窮者自立支援事	業	
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし	
			特定財	源内訳		一般財源
決算額	10,000	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一放射源
		7,500	0	0	0	2,500
事業の概要	生活困窮者自立支 具体的な支援計画を	援法に基づき,経済的 ・作成し,自立に向けた	りに困窮し最低限度 <i>の</i> た支援を行う。)生活を維持できなく	なるおそれのある世	帯等の相談に応じ、
事業の取組	社会福祉協議会で る障害をお持ちの方 をはじめとした諸課 相談実人数:96人	は,「権利擁護センタ・ でも高齢者の相談など 題について,一緒にま 、 (内 新規相談件数:4 2件	ー事業」や「福祉サート 、包括的な支援が可能 きえ,解決に向けて助	ンター」事業を三次市 ごス利用援助事業」も 能となっており,生活 言等を行うことで,相	行っており,生活困窮 サポートセンターでに	胃者の相談と重複す は,生活困窮の相談
事業の成果	大きく,継続した事業 社会福祉協議会の	業として実施すること	ができました。 E活困窮の支援を総括	Dある人の相談に応じ 舌的に対応できる体制		

(3)多文化·共	生					(単位:千円)
		担当部課名		地域共創部共	生社会推進課	
事	業名			人権啓発推進事業		
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし	
			特定財	源内訳		一般財源
決算額	2,581	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一放射源
		0	254	0	0	2,327
事業の概要	講演会の実施や, 名作る。また, 在住外国る。	S学校での人権の花え 国人が暮らしやすい環	運動,人権ハート絵制 遺境づくりを推進する7	作を実施することで, ため, 外国人のための	人権について考え理)生活相談や日本語学	解を深める機会を 智支援を実施す
事業の取組	次人権護委員協議会 講演いただきました。参 演いただきました。参 「大権ハート絵のカー 」、大権ハート絵のカー 」、大権ハート絵のカー 」、大権のカー 」、大権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人権のでは、一人がは、一人がは、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人は、一人	りを会場に合同イベント 会と連携し、人権啓発ハ (Arra代表取締役社長の加大数 120人 かける 120人 かける 120人 かける 120人 かける 120人 かける 120人 かける 120人 がいて、 120人 がいる 120	トである「2024ハピネパネル展示や中学生人権の確認さんを講師に迎えたを表現した「人権ハートップターで展示しました。豊かにし、命の大切さや、局三次支局及び三次人の格とセヤシンス栽培で、人権イメージキャラクターで必要となる日本語能力スタッフ17人の協力により、プに力を入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、日本のでは、アクリスを入れるため、アクリスを入れるため、アクリスを入れるため、アクリスを入れるため、アクリスを入れるため、アクリスを入れるため、アクリスを入れるため、アクリスを入れるため、アクリスを表が、アクリスを表が、アクリスを表が、アクリスを表が、アクリスを表が、アクリスを表が、アクリスを表が、アクリスを表が、アクリスを表がある。	作文朗読を行いました。、「多様性と共生」と題 絵かがやきメッセージ 展示数 176点 相手への思いやりとい 権擁護委員協議会との ットを贈呈しました。参 一を用いて「人権」につい できるよう、「み にはり、毎週火曜日と木曜 こ。 日本語学習支援スタップ	した。三 。また, し,ご講 」を市内 う人権 の か、て呼び かよし日開 「人権の ア養成講	4/パピネスフェスタ 花」感謝状贈呈式
事業の成果	らしく生きられる社会と 小中学生による人権ハ とができました。「人権の みよし日本語教室では	は何か」を考えていただ。 ート絵かがやきメッセー が、運動により,児童の ,在住外国人の日本語学	講演会を実施し,一人ひと く機会となりました。「人権 ジは学校単位で取り組みが 人権に対する関心を高め, 能力の習得を支援すると でき,在住外国人が安心し	」を身近に感じていただ が行われ,展示の場を提供 理解を深めることができ ともに,日本語学習支援フ	き,効果的な啓発を行うさ もすることで,人権尊重意 ました。 スタッフ養成講座を実施し	ことができました。 識の普及・高揚を図るこ

		担当部課名		地域共創部共	生社会推進課		
事	業名		男女共同参画推進事業				
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし		
			特定財	源内訳		一般財源	
決算額	2,602	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	小 (大文山	
		0	0	0	0	2,602	
事業の概要	の選択によって仕事 する機会が確保され	と地域活動を含めた 1,ともに活躍できるネ	,	て充実した人生が送れ 男女共同参画推進事	れるよう,男女が個人 業を実施する。	一人ひとりが,自ら として能力を発揮	
事業の取組	する機会が催保され、ともに活躍できる社会の実現をめざし、男女共同参画推進事業を実施する。 令和3年3月に策定した「三次市男女共同参画基本計画(第4次)~一人ひとりがしあわせな社会をめざして~」の基本的な考え方や計画の推進について周知を図るため、男女共同参画週間にあわせ、FIT ME代表取締役の福永優奈さんを講師に迎え、「パパの育児スキルアップ応援家族で一緒に遊ぼう!」と題し講演を行いました。その他、国連によって定められた国際女性デーに合わせ、「MIYOSHI2025国際女性デー」を3月2日に開催しました。幅広い世代への啓発を行うため、映画上映や吉永みち子さんを講師に迎え「自分らしく生きるために」と題し講演を行いました。さらに、市広報紙や市ホームページ、市役所ほっとニュースなどを活用して啓発に取り組みました。また、家庭や地域、職場などのあらゆる場における男女共同参画の理解の浸透と女性活躍推進を						
事業の成果	く機会を提供すると	ともに, 広報紙, HP等	を実施し,開催方法を 等も活用しながら市民 カ,講演会等を通して!	・啓発を行い,男女共	方へ男女共同参画に 同参画の理解の浸透	につなげました。	

		担当部課名	坦当部課名 地域共創部共生社会推進課			
事	業名	女性活躍推進プラットフォーム事業(アシスタlab.)				
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし	
			特定財	源内訳		一般財源
決算額	10,409	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一放射冰
		2,250		0	0	8,159
事業の概要	女性の活躍推進・就 女性の「働く」を応援 の機運醸成と必要な	する環境の整備の一	, それぞれのライフス 環として, 女性活躍丼	テージに合わせた,st 単進プラットフォーム®	z性の多様な選択やチ 事業「アシスタlab.」を	・ヤレンジを支援し, 開設し,起業・就業
事業の取組	ナーや就職セミナーを 支援を行い、「みよした 輩起業家トーク」などを 会員同士の交流促進を 各会員の状況を把握 効率的な売り上げア	実施するとともに,個別プレトレーヌ」として14 かからでいるを5 回開催しまで図るため,イベントを見まし,起業に関する個別材がるマーケティなどによる専門的で幅。	t,柔軟で多様な働き方 別相談やトライアルをサ 人を認定しました(累計 ました。また,会員のマ 開催し,550人の方延 別でで16日開催しが、 はいセミナーを開催し、 広いセミナーを開催し、	ポートするなど,起業・ ・108人)。セミナーを8ルシェ出店のスキルアッ 来場しました。 42 人の支援を行いま! インターネットでの集客	就業の 一回,「先 ルプ及び した。 を目的 をを実施 専門家	による個別相談
事業の成果	トや各分野の専門家に も増加しており、着実 創業セミナーでは、毎	よる個別相談など,多こ実績を積み上げてい	様な働き方が選択でき ます。 があり,また,交流会や [、]	るような伴走型の支援	へのライフステージに合 が成果を上げていると テうことで,起業を目指	いえます。年々会員数

						(単位・十円)	
		担当部課名		地域共創部共	生社会推進課		
事	業名		平和推進事業(平和祈念事業)				
事業区分	継続	事業		政策1 健康で安	心感のあるくらし		
			特定財	源内訳		一般財源	
決算額	447	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一	
		0	0	0	0	447	
事業の概要	平和を願う思いの MIYOSHI2024」	継承と市民の平和に 等の平和推進事業(平	対する意識の高揚を ^Z 和祈念事業)を実施	図るため,「平和の灯 [、] する。	ろうコンテスト」,「平	和のつどい	
事業の取組	組」として、平和の願い 社施設や小中学校の別 和美術館に展示を行い 廃・本市も加盟して 廃・新えました。できれた8月6日、9日 共施設において半旗の ・平和祈念事業 市民ソOSHI2024」 への想いをしたためた し、会場に設置された リレー」から採火された	いが込められた折り鶴を記章・生徒から450点でいる「平和首長会議」が和への想いを込めた所に下和記念公園の「原品に、市民に原爆犠牲の掲揚を行いました。 和について考え、次世代を三良坂平和公園で開発でで、中和への想い(一筆800基の灯ろうへ、平と火が灯され、本市から	活用した「平和の灯ろの応募があり、応募いたい。 などと連携を取りながり り鶴の募集には、市民が 爆の子の像」に手向ける 者の追悼の黙とうを呼 代にその尊さを伝える 別催しました。「平和の灯 多)」作品の表彰を行い。 で和活動として広島県内 を列への願いを多		下内の福 三良坂平 核兵器 り場が投 とした公 平和のつ でと、かか 平和の灯	どいMIYOSHI2024 和の折り鶴献納	
事業の成果		テスト」や折り鶴の募 浸透を図ることができ		参加による平和推進	事業(平和祈念事業)を	を展開することで,	

						(単位・十円)
		担当部課名		地域共創部共	生社会推進課	
事	業名	高校生国際理解推進事業				
事業区分	継続事業	業(拡充)		政策1 健康で安	心感のあるくらし	
			特定財	源内訳		60.0+25
決算額	608	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等 その他	一般財源
		0	0	0	0	608
事業の概要	目的として,市内高領	国際交流活動を通し 等学校において実施で	される国際交流活動に	こ対して補助金を交付	けする。	すを育成することを
事業の取組	援を行う事業として 海外派遣事業や英 た,JICA中国の海外 など295名の生徒が		を対象とし補助金を 域・日本文化の紹介,力 前講座を活用し,講話。	交付しました。 ガイドツアーを行いま とワークショップを受	Uた。ま 講する JICA中国出 姉妹校との3	出前講座(日彰館高等学校)
事業の成果	置くことになった際の	「姉妹校との交流に。 でき成長を感じました の感情を経験すると。 学力向上や異文化理(ともに,多様性や違い	を認め、受容すること	感じるとともに,広い ショップを通して,自 この重要性を学ぶこと	↑世界への知的好奇 らが異文化に身を ≤ができました。」な